

# 教科の学習の概要 国 語 科

| 学年  | 必修・選択      | 科目名    | 単位数       | 学 習 内 容 の 概 要  |
|-----|------------|--------|-----------|--|
| 1 年 | 必修         | 現代の国語  | 2         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の確認、構成分析、主題・大意の把握、設問の解法</li> <li>・ 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出</li> <li>・ 常用漢字の学習</li> </ul>   |
|     |            | 言語文化   | 3         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典講読・古文解釈・漢文訓読</li> <li>・ 問題演習・文法演習・百人一首解釈と鑑賞</li> <li>・ 文学作品の背景を調べる。</li> </ul>  |
| 2 年 | 必修         | 現代文演習Ⅰ | 2         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の確認 構成分析 主題・大意の要約、設問の解法</li> <li>・ 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出</li> <li>・ 文学作品の背景を自ら調べる。</li> <li>・ 常用漢字の学習</li> </ul>   |
|     |            | 古典探究   | 3         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味・用法及び文の構造を理解すること。</li> <li>・ 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉えること。</li> <li>・ 基本的な助動詞・助詞の用法・意味、敬語法を理解し、古典の文章読解に役立てる。</li> <li>・ 基本的な句法を理解し、漢文の訓読</li> <li>・ 解釈に役立てる。</li> </ul>               |
| 3 年 | 必修         | 現代文演習Ⅱ | 2<br>(理系) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的な文章においては、論理の展開や要旨を的確にとらえるために、1・2年次にも学習した語句の確認、構成分析等の学習を行う。</li> <li>・ 文学的な文章については、構成や叙述の仕方に留意しながら、心情や情景、人物像を的確にとらえる。また、文学作品の時代的背景を自ら調べることで、作品をより広い視野から読み味わうことができるようにする。</li> </ul> |
|     | A型<br>自由選択 |        | 2<br>(文系) |  |
|     | A型<br>自由選択 | 理系選択   | 2         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容読解のために文脈を把握し、主体をしっかり捉えて読む。</li> <li>・ 文法、句法、単語をプリントや小テストで確認し、重要事項を授業中に修得するよう心がける。</li> <li>・ 問題演習を時期をみて行い、問題に慣れ、答えまでの筋道を理解する。</li> </ul>  |
|     |            | 古典演習   |           |  |

|     |             |                |   |   |
|-----|-------------|----------------|---|---|
| 3 年 | B 型 必修      | 古典講読<br>(古文分野) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古語の意味、用法を語源から掘り下げて理解する。</li> <li>・ 文章の構成や展開に即して主題要旨を捉える。</li> <li>・ 助動詞や助詞敬語法の理解を一層深め、表現に即してそのもつ意味を正確に理解する。</li> <li>・ 文学史上での作品の位置付けを理解する。</li> <li>・ 受験問題を実際に解き解法を学ぶ。</li> </ul>  |
|     |             | 古典講読<br>(漢文分野) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢文を読んで内容を読み取れるようにする。</li> <li>・ 文脈把握のため主体をしっかり捉えて読む。</li> <li>・ 予習時に得た読解内容や現代語訳を授業で確認する。</li> <li>・ 多読多義語、句法プリント等で重要事項を授業中に修得するよう心がける。</li> <li>・ 背景知識の定着のため意識して授業を聞き、総覧を活用する。</li> <li>・ 単元を修了するごとに問題演習を行い、問題への解答に慣れる。</li> </ul> |
|     | B 型<br>自由選択 | 小論文            | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの「書く材料」探しをする。</li> <li>・ 各自の文章力のスキルアップのための課題に取り組む。</li> <li>・ 多様な出題に対する適応力を養うための課題に取り組む。</li> <li>・ 他の人の文章に触れることで、視野を広げ、思索を深める。</li> </ul>   |
|     | B 型<br>自由選択 | 古典演習           | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古語の意味・用法を語源から掘り下げて理解する。</li> <li>・ 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。</li> <li>・ 助動詞や助詞・敬語法の理解を一層深め、表現に即してそのもつ意味を正確に理解する。</li> <li>・ 文学史の上でそれぞれの作品のもつ意義を理解する。</li> <li>・ 受験問題を実際に解き、解法を学ぶ。</li> </ul>  |

教科の学習の概要 地理歴史科

| 学年 | 必修・選択      | 科目名   | 単位数 | 学習内容の概要  |
|----|------------|-------|-----|--|
| 1年 | 必修         | 地理総合  | 2   | 地理情報システムの活用を基に、現代世界や国際社会の特質を考察し、地域社会を形成する一員としての資質を高める。 |
| 2年 | 必修         | 歴史総合  | 2   | 近代化、国際秩序の変化と大衆化、グローバル化を柱に近現代史を理解し、多面的・多角的に考察する力を養う。    |
|    |            | 世界史探究 | 2   | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について多面的・多角的に考察し、探究する。            |
|    |            | 日本史探究 | 2   | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について多面的・多角的に考察し、探究する。                  |
| 3年 | B型<br>必修選択 | 選択世界史 | 4   | 先史・古代から近世の通史を中心に学習する。                                  |
|    |            | 選択日本史 | 4   | 原始・古代から江戸時代までの通史を中心に学習する。                              |
|    |            | 地理探究  | 4   | 系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的な見方や考え方を学習する。           |
|    | B型<br>必修選択 | 世界史演習 | 2   | 近現代史を中心に学習し、演習を行う。                                     |
|    |            | 日本史演習 | 2   | 近現代史を中心に学習し、演習を行う。                                     |
|    | A B 共通自由選択 | 地理探究  | 2   | 現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を学習する。                     |
|    |            |       |     |  |

教科の学習の概要 公民科

| 学年 | 必修・選択 | 科目名  | 単位数 | 学習内容の概要   |
|----|-------|------|-----|---|
| 1年 | 必修    | 公民   | 2   | 社会に参画する際に、選択・判断するための手掛かりとなる見方・考え方を学び、それを活用して法・政治および経済に関する課題の解決策を考察する。       |
| 3年 | 自由選択  | 政治経済 | 2   | 現代の政治・経済のしくみと歴史、課題について学習する。<br>国際政治・国際経済分野を先に取扱い、1年次公民での既習事項は、問題演習中心の授業とする。 |

教科の学習の概要 数 学 科

| 学年 | 必修・選択             | 科目名                   | 単位数 | 学 習 内 容 の 概 要  |
|----|-------------------|-----------------------|-----|--|
| 1年 | 必修                | 数学I                   | 3   | (1) 数と式 (2) 集合と命題<br>(3) 2次関数 (4) 図形と計量<br>(5) データの分析  |
|    |                   | 数学II                  | 1   | (1) 式と証明 (2) 複素数と方程式<br>(3) 図形と方程式   |
|    |                   | 数学A                   | 2   | (1) 場合の数と確率 (2) 図形の性質<br>(3) 数学と人間の活動  |
| 2年 | 必修                | 数学II                  | 3   | (1) 図形と方程式 (2) 三角関数<br>(3) 指数・対数関数 (4) 微分法と積分法   |
|    |                   | 数学B                   | 2   | (1) 数列<br>(2) 統計的な推測<br>(3) 平面上のベクトル   |
| 3年 | A型<br>必修選択        | 数学III                 | 4   | (1) 微分法 (2) 微分法の応用<br>(3) 積分法 (4) 積分法の応用   |
|    |                   | 数学C                   | 2   | (1) 空間ベクトル<br>(2) 式と曲線<br>(3) 複素数平面  |
|    |                   | 数学演習I                 | 4   | 入試問題集「クリア数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。                    |
|    | A型<br>自由選択        | 数学演習II                | 2   | 入試問題集「スタンダード数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。                 |
|    | B型<br>必修・自由<br>選択 | 数学I<br>(数学 $\alpha$ ) | 4   | 入試問題集「ニュースタンダード数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、共通テスト形式の実践問題や過去問題の演習を通して、実践力の向上を図る。 |
|    |                   | 数学II<br>(数学 $\beta$ ) | 4   | 入試問題集「クリア数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。                    |

## 教科の学習の概要 理 科

| 学年  | 必修・選択     | 科目名    | 単位数      | 学 習 内 容 の 概 要  |
|-----|-----------|--------|----------|--|
| 1 年 | 必修        | 生物基礎   | 3        | 「生物の特徴」「ヒトの体の調節」「生物の多様性と生態系」の3分野について学習する。                            |
| 2 年 | 必修        | 物理基礎   | 3        | 「運動とエネルギー」「熱」「波（波の性質・音）」について、発展的な内容を含めて学習する。「電気」については、3年次（選択者）で学習する。 |
|     |           | 化学基礎   | 3        | 物質の構成、物質の変化、有機化合物（脂肪族化合物）、物質とエネルギーについて学習する。                          |
| 3 年 | A型必修      | 化学     | 4        | 有機化学、熱化学、反応速度、化学平衡、高分子化合物、天然物、無機化学について学習する。                          |
|     | A型必修選択    | 物理     | 5<br>(4) | 力学、波（光）、熱と気体、電磁気、原子について学習する。物理基礎に比して、系統だった難解で高度な内容となる。               |
|     |           | 生物     | 5<br>(4) | 「生物の進化」「生命現象と物質」「遺伝情報の発現と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」の5分野について学習する。            |
|     | B型必修・自由選択 | 物理基礎演習 | 1        | まず、物理基礎の内容を完結し、演習テキストを用いて大学入学共通テスト対応の演習を行う。                          |
|     |           | 化学基礎演習 | 1        | 原子の構造、化学結合、量的関係、酸・塩基、酸化還元について、実験を取り入れながら学習する。                        |
|     |           | 生物基礎演習 | 1        | 生物基礎の内容を一通り復習する。また、大学入学共通テストに対応するための演習を行う。                           |
|     |           | 地学基礎演習 | 1        | 今年度は開講しません。  |

教科の学習の概要 保健体育 科

| 学年  | 必修・選択 | 科目名 | 単位数 | 学 習 内 容 の 概 要   |
|-----|-------|-----|-----|---|
| 1 年 | 必修    | 体育  | 3   | 男女とも年間で球技（屋外種目・屋内種目）を5種目行う。その他に体づくり運動、水泳、陸上競技を行う。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。<br>1学期にスポーツテストを3時間程度実施する。                               |
|     |       | 保健  | 1   | 健康の考え方・健康の保持増進と生活習慣病予防・がんの原因と予防<br>精神の健康・交通安全・災害の発生と安全健康（応急手当）について学習する。   |
| 2 年 | 必修    | 体育  | 2   | 男女ともソフトボール、テニスを2クラス2展開で行う。<br>他に男女ともバスケットボール、バレーボール、バドミントン、水泳、長距離走、スポーツⅡを行う。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。<br>1学期に中心にスポーツテストを3時間程度実施する。 |
|     |       | 保健  | 1   | 生涯の各段階における健康（妊娠、出産、結婚について）・保健、医療制度及び保健医療機関・環境問題・様々な保健活動対策について学習する。  |
| 3 年 | 必修    | 体育  | 2   | 屋内及び屋外の4種目を選択し、各グループで課題の設定と学習方法を計画して授業を展開する。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。1学期にスポーツテストを3時間程度実施する。  |

# 教科の学習の概要 芸術科

| 学年  | 必修・選択           | 科目名 | 単位数 | 学習内容の概要  |
|-----|-----------------|-----|-----|--|
| 1 年 | 必修選択            | 音楽Ⅰ | 2   | 小中学校で扱わなかった分野の補遺。作編曲の基礎、鑑賞、器楽、歌唱、楽典基礎。実技と理論を結び付けた各種表現学習。           |
|     |                 | 美術Ⅰ | 2   | 青高伝統の外苑イチョウ並木の写生に加え、立体制作やデザイン課題、色彩理論、技法学習等。発想と技法を結びつけた制作と鑑賞の両面を学習。 |
| 3 年 | B 型必修<br>自由選択 B | 音楽Ⅱ | 2   | 音楽・保育系専門学校や音楽大学へ進学希望の者及び趣味に対応。和声学、ソルフェージュ、聴音、初見、ピアノ、様々な楽器。         |



# 教科の学習の概要 英 語 科

| 学年     | 必修・選択 | 科目名          | 単位数 | 学 習 内 容 の 概 要   |
|--------|-------|--------------|-----|---|
| 1<br>年 | 必修    | 英語コミュニケーションⅠ | 4   | ・英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能を向上させるために、語彙力を身に付け、様々な種類の英文を読み、読解力を養う。同時に、読解した内容について、情報や考えなどを英語で的確に表現する練習を行う。   |
|        |       | 論理・表現Ⅰ       | 2   | ・英語による実践的なコミュニケーション能力向上のため、基礎的な英文法を習得する。特に、英文構成の基本を習得して、日常的な話題や社会的な話題について、話したり（やり取り・発表）、書いたりできるように練習を行う。  |
| 2<br>年 | 必修    | 英語コミュニケーションⅡ | 3   | ・Ⅰよりも量的、質的に高度の英文を読むことにより英語の理解力を高める。パラグラフのメインアイデアを捉えたり、トピックセンテンスを抽出したり、要約する練習を行う。<br>・精読、速読の両面からのアプローチによって、英文理解を促進する。                                      |
|        |       | 論理・表現Ⅱ       | 2   | ・文法・語法について、より難しい問題演習を数多くこなして、多様な問題に適応する力を養う。<br>・和文英訳力、パラグラフライティングなどによって、英文構成力の伸長を図る。<br>・リスニング、スピーキングにおいては、様々な分野に関する英文を正確に聞いて、プロットをまとめたり、意見を述べたりする練習を行う。 |
| 3<br>年 | 必修    | コミュニケーション英語Ⅲ | 4   | ・1, 2年での学習を土台に英語コミュニケーション力の完成を目指すと同時に、積極的に入試問題に取り組む。<br>・長文問題では、その出題形式に慣れ、一定の時間内に解答し7割以上正解できるようにする。<br>・共通テストの予想問題を実戦形式で時間を設定して解答し、8割以上の正解率を目指す。          |
|        |       | 論理・表現Ⅲ       | 2   | ・1年次から学習してきた英文法全般を復習し、総合的な英語力の向上を図る。<br>・英語の語法について学習し、正確な英語についての理解を深め、運用能力を高める。   |

|    |            |                         |   |  |
|----|------------|-------------------------|---|--|
|    |            |                         |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・和文英訳問題にあたっては、複数の表現方法を学習することで、英語の表現力を向上させる。</li> <li>・リスニング力の向上を図ると共に、自由英作文にも取り組む。</li> </ul>                           |
| 3年 | AB型 共通自由選択 | コミュニケーション英語Ⅱ<br>(英語選択A) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は開講しません。</li> </ul>   |
|    | B型 自由選択    | コミュニケーション英語Ⅱ<br>(英語選択B) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・難度の高い長文の要旨を捉えると同時に、細部にわたって正確に理解し、入試問題に備える。</li> <li>・高度な語彙知識を身に付ける。</li> <li>・広範にわたる文法の知識を確実にし、読解に資するものにする。</li> </ul> |
|    | B型 自由選択    | コミュニケーション英語Ⅰ<br>(英語選択C) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な話題や社会的な話題について、詳しく話して伝えることができるようにする。</li> <li>・入試におけるリスニング試験で高得点を取れるよう、ストラテジーを身に付ける。</li> </ul>                     |

教科の学習の概要

家 庭 科

| 学年  | 必修・選択 | 科目名  | 単位数 | 学 習 内 容 の 概 要  |
|-----|-------|------|-----|--|
| 2 年 | 必修    | 家庭基礎 | 2   | <p>① 生きていく力（生活スキル）を身に付けさせると同時に生活課題を解決する力、生活向上を図る能力を育てる。</p> <p>② 衣食住と健康とのかかわりについて学習し、基本的な知識、技術を習得させる。</p> <p>③ 家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活と福祉について理解し、男女が協力して家庭を築くことの重要性を学ぶ。</p> <p>④ 消費生活と、法教育に関する基礎的な知識を身に付ける。</p> |

教科の学習の概要

**情 報 科**

| 学年  | 必修・選択 | 科目名  | 単位数 | 学 習 内 容 の 概 要   |
|-----|-------|------|-----|---|
| 1 年 | 必修    | 情報 I | 2   | <p>① 情報社会を生きていく中で必要な情報の特徴を理解し、情報化が社会に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>② 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に利用して情報を収集、処理、表現するとともに、情報社会で効果的に情報技術を活用する力を身に付ける。</p> <p>③ 情報社会に積極的に参画する態度を身に付ける。</p> |